

DAX®証拠金取引は、「DAX®」の数値(円換算前の原数値)をもとにした価格(マーケットメーカーが提供する価格)により取引されます。「DAX®」の数値×100円を売買単位(1枚)とし、円建てで取引が可能です。

## 株価指数DAX®の特徴

株式会社DZHフィナンシャルリサーチ  
シニア・アナリスト 野口文高

### [取引対象株価指数]

#### DAX®

「DAX®」は、フランクフルト証券取引所に上場する株式銘柄のうち、最も時価総額が大きい(浮動株ベース)優良企業30銘柄で構成されています。指数は、配当込みのトータル・リターン指数です。

このレポートでは...

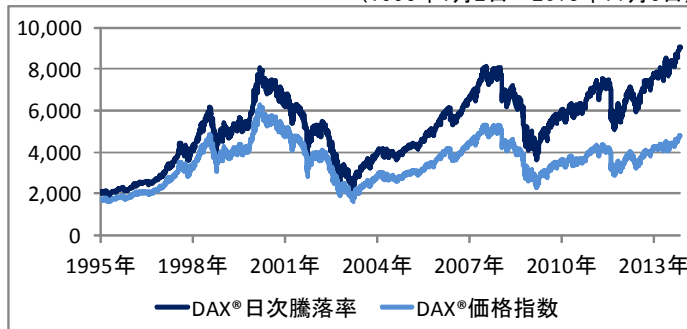
- DAX®は、配当込みの指数です。**  
⇒ DAX®は史上最高値の更新を続けていますが、配当を除いた価格指数でみると、まだ2000年高値の約76%の水準です。
- DAX®は、米国株と高い相関があります。**  
⇒ ドイツと米国経済の相互依存とドイツ企業の米国をはじめする海外での事業展開が高い相関につながっていると考えられます。
- DAX®は、過去の米国株上昇局面では米国株を上回る傾向がありました。**  
⇒ DAX®の構成銘柄に化学や自動車などの製造業が多く、世界の景気循環に対する感応度が高いからと考えられます。
- しかし、2009年以降の上昇局面では、DAX®は米国株に出遅れています。**  
⇒ 欧州債務危機の先行きに対する警戒感からドイツ株が売られた時期があったことが主因と考えられます。

### DAX®は、配当込みの指数です

DAX®は、配当込みの株価指数です。(図表1)はDAX®とDAX®から配当を除いたDAX®価格指数について、1995年以降の値動きと2000年と2007年の高値(終値ベース)及び直近11月6日の終値を示したものです。DAX®は今年5月以降に2007年の高値を超えて史上最高値の更新を続けていますが、配当を除いた価格指数でみると、まだ2000年高値の約76%、2007年高値の約90%の水準であることがわかります。

(図表1) DAX®とDAX®価格指数の値動き

(1995年1月2日～2013年11月6日)



出所: ブルームバーグのデータより、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ作成。

本レポートはお客様への情報提供のみを目的として作成したもので、売買の勧誘を目的としたものではありません。実際の投資をなさる場合の最終ご判断は、お客様ご自身でご判断なさるようお願い致します。本レポートは当社が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本レポートを原因とするお客様の直接あるいは間接的損失および損害については一切補償には応じません。

Copyright 株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

本レポートは、本取引所が株DZHフィナンシャルリサーチから提供を受けて公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は株DZHフィナンシャルリサーチに帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。 株式会社東京金融取引所

\* 本商品は預託すべき証拠金の額に比して取引金額が大きい場合、相場次第で差し入れた証拠金以上の損失が発生することがあります。

DAX®構成銘柄リスト
アディダス
アリアンツ
BASF
バイエル
バイエルズドルフ
BMW
コメルツ銀行
コンチネンタル
ダイムラー
ドイツ証券取引所
ドイツ銀行グループ
ドイツ・ポスト
ドイツ・テレコム
イーオン
フレセニウス・メディカル・ケア
フレセニウス
ハイデルベルグセメント
ヘンケル
インフィニオンテクノロジーズ
ルフトハンザグループ
リンデ
ランクセス
メルク
ミュンヘン再保険
RWE
SAP
K+S
シーメンス
ティッセンクルップ
フォルクスワーゲン



金融取

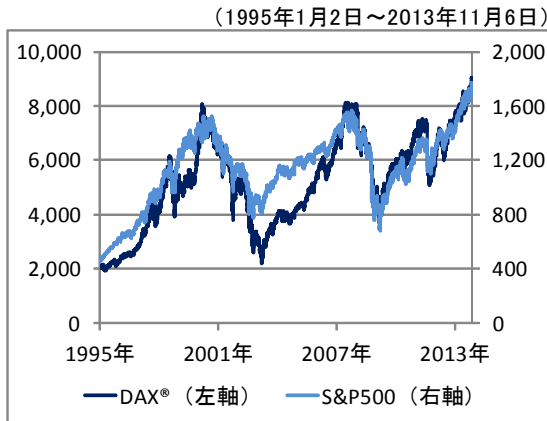
東京金融取引所



## DAX®は、米国株と高い相関があります

世界各国の株式相場は、米国株の影響を受けて動く傾向があります。各国と米国経済の相互依存と各国企業の米国をはじめする海外での事業展開が世界各国の株式相場と米国株の連動につながっていると考えられます。(図表2)はDAX®と米国株の代表的な株価指数であるS&P500について、1995年以降の値動きと2000年と2007年の高値(終値ベース)及び直近11月6日の終値を示したものです。DAX®は、S&P500の上昇局面と下落局面で同じように動いていることがわかります。この図表に示す期間について、DAX®とS&P500の相関係数を計算すると0.9185になります。

(図表2) DAX®とS&P500の値動き比較



	DAX®	S&P500
2000年高値	8,064.97	1,527.46
2007年高値	8,105.69	1,565.15
2013年11月6日	9,040.87	1,770.49

出所: ブルームバーグのデータより、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ作成。

## DAX®は、過去の米国株上昇局面では米国株を上回る傾向がありました

DAX®は、過去に米国株が上昇した局面では米国株を上回るパフォーマンスを示す傾向がありました。(図表3)は1995年以降の米国株(S&P500)の上昇局面と下落局面について、S&P500とDAX®及びDAX®価格指数の騰落率を比較したものです。上昇局面①と上昇局面②におけるDAX®の上昇率はそれぞれ281.5%と207.2%で、いずれもS&P500を上回っていました。配当を除いたDAX®でもS&P500を上回るパフォーマンスでした。これに対して、下落局面①ではDAX®とDAX®価格指数の下落率はS&P500を上回っています。

(図表3) 米国株の上昇/下落局面におけるS&P500とDAX®の騰落率比較

	S&P500	DAX®	DAX® 価格指数	期間
上昇局面①	232.6%	281.5%	251.8%	1995年1月2日～ 2000年3月24日*
下落局面①	-49.1%	-67.2%	-68.8%	2000年3月24日*～ 2002年10月9日*
上昇局面②	101.5%	207.2%	171.4%	2002年10月9日*～ 2007年10月9日*
下落局面②	-56.8%	-53.7%	-55.5%	2007年10月9日*～ 2009年3月9日*

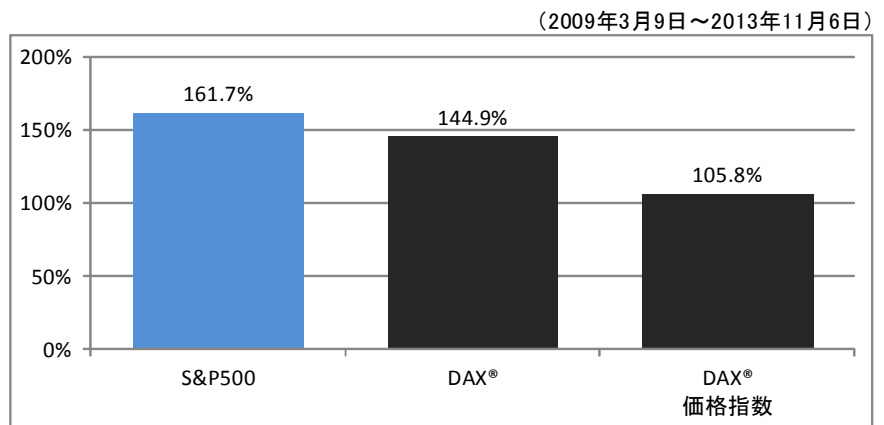
\* S&P500が高値/安値(終値ベース)を付けた日。

出所: ブルームバーグのデータより、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ作成。

## しかし、2009年以降の上昇局面では、DAX®は米国株に出遅れています

このように、上昇局面でも下落局面でもDAX®の上昇率や下落率が米国株よりも大きい傾向があるのは、DAX®の構成銘柄に化学や自動車などの製造業が多く、世界の景気循環に対する感応度が高いからと考えられます。ところが、2009年以降の上昇局面をみると、(図表4)に示すようにDAX®のパフォーマンスがS&P500を下回っています。このアンダーパフォーマンスの理由としては、欧州債務危機の先行きに対する警戒感からドイツ株が売られた時期があったことが主因と考えられます。

(図表4) 2009年以降の上昇局面におけるS&P500とDAX®の騰落率比較



出所: ブルームバーグのデータより、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ作成。

本レポートはお客様への情報提供のみを目的として作成したもので、売買の勧誘を目的としたものではありません。実際の投資をなさる場合の最終ご判断は、お客様ご自身でご判断なさるようお願い致します。本レポートは当社が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本レポートを原因とするお客様の直接的または間接的損失および損害については一切補償には応じません。 Copyright 株式会社DZHフィナンシャルリサーチ  
本レポートは、本取引所が株式会社DZHフィナンシャルリサーチから提供を受けて公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は株式会社DZHフィナンシャルリサーチに帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。株式会社東京金融取引所

\* 本商品は預託すべき証拠金の額に比して取引金額が大きいため、相場次第で差し入れた証拠金以上の損失が発生することがあります。